

一般財団法人 Ruby アソシエーション

2014 年度 第 1 回臨時評議員会 議事録

- 1 開催場所：ハートンホテル東品川 2F スイートピー 4  
東京都品川区東品川 4-13-27
- 2 開催日時：2015 年 3 月 3 日(火) 14:00～16:00
- 3 評議員総数及び定足数：現在総数 13 名、定足数 7 名
- 4 出席評議員数：9 名  
(本人出席) 石川明、及川喜之、大場寧子、後藤裕蔵、  
立久井正和、中島宏、羽田昭裕、森正弥、吉田正敏  
(欠席) 出田健二、最首英裕、平松知江子、吉岡宏
- 5 出席理事：松本行弘、井上浩、笹田耕一、田中和明、橋本明彦
- 6 事務局：前田修吾、横田早百合、徳永翔二、江角俊秀
- 7 オブザーバ出席：高橋征義、槇原由文、渡部明、藤原亮彦、原田一輝、杉原健司、福田一斎

以上のとおり評議員の出席があり本評議員会は適法に成立したので、出席評議員から及川喜之が議長として選出され開会を宣し、出席評議員から後藤裕蔵、立久井正和が議事録署名人として選出された。先ず、冒頭で松本理事長から挨拶があり、続いて下記議案の審議に入った。

8 内容

■松本理事長挨拶

- ・Ruby はハイプ・サイクルの段階でいうと安定期に入ったように思う。
- ・そのサイクルをさらに上向きの方向に持っていくために、Ruby アソシエーションができることはたくさんある。
- ・今後も皆さんのお知恵をお借りし、有意義な活動をしていければと思う。

■報告事項 1 今期の事業実施状況

議長が事務局に報告を求め、徳永事務局員が別添資料 1 に基づき、先の臨時理事会(2015 年 1 月開催)で審議された 2014 年度の事業実施状況について報告を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■報告事項 2 2014 年度 決算見込

議長が事務局に報告を求め、横田事務局員が別添資料 2 に基づき、先の臨時理事会で審議された 2014 年度の決算見込について報告を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■報告事項 3 試験事業の契約変更について

議長が事務局に報告を求め、徳永事務局員が、先の臨時理事会で協議された試験事業に関わるプロメトリック社との契約変更について報告を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■協議事項1 2015年度事業計画書(案)について

議長が事務局に説明を求め、前田事務局長が別添資料3に基づき、先の臨時理事会で審議された2015年度の事業計画書(案)について説明を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■協議事項2 2015年度予算案について

議長が事務局に説明を求め、横田事務局長が別添資料4に基づき、先の臨時理事会で審議された2015年度の予算案について説明を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■その他 評議員の任期満了について

議長が事務局に説明を求め、横田事務局長が、先の臨時理事会で協議された評議員の任期満了に伴う辞任及び選任について説明を行った。

議場より特段の意見、質問はなかった。

■意見交換

笹田理事：先日、参加者100人規模のRuby Business Users Conferenceというイベントを開催したが、スピーカーが喋るだけでなく、協賛会員様にメリットがあること（たとえばブースなど）をもう少し盛り込めればより良かったのではないかと思う。

森評議員：今、弊社のなかで「アンカンファレンス」が流行っている。なかなか面白い取り組みで盛り上がっているので、是非アイデアとして取り入れられるとこがあれば取り入れていただきたい。

及川評議員：メインステージとタイムテーブルがきちり決まっていると、それが当日のイベントのメインストーリーで、その他の参加者同士の交流や協賛会員様と参加者との交流が起りにくいということがある。

まつもと理事長：協賛会員様に提供できるいちばん大きなメリットは、最近ではリクルートに関すること。そのためになるような場の提供（イベント）を行うことができればよいと思う。

吉田評議員：公開型開発支援プロジェクトの公開後の状況がわかるようになってくるとよいと思う。

まつもと理事長：「あったら嬉しい」というお声をいただくことがあるRuby技術者認定試験のPlatinumについては、今後も引き続き状況を見つつ検討していく。

徳永事務局長：試験事業については模擬問題の英訳など、海外向けの情報も充実させていく予定である。

立久井評議員：協賛会員企業へのRubyを使ったインターンシップを企画するなどし、協賛会員様と学生を結びつけるようなこともしてはどうか。

以上の意見に紐付いて、各評議員、監事、事務局、及びオブザーバ間で活発な意見交換が行われた。

上記の議決を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2015年3月3日

一般財団法人Rubyアソシエーション評議員会

議長

及川 喜之



議事録署名人

後藤 裕蔵



議事録署名人

立久井 正和



201

「事業」

2014 年度（第 4 事業年度）

# 「事業実施状況」 (案)

一般財団法人 Ruby アソシエーション

## 1 事業の概要

2014年度の当財団の活動は、Ruby 技術者認定試験の改定や Ruby Business Users Conference 2015 の実施、またアメリカの Ruby Central からの Ruby 安定版保守業務に対するの支援を受けるなど、既存の事業に対する充実化と長年の目標であった海外 Ruby 組織と協力した事業を展開するなどの新たな試みを実施致しました。

本書では当財団の 2014 年度の実施状況について報告します。

## 2 体制及びその変更

### 1) 評議員

#### 2014 年度評議員

- ・石川 明 (株)日立ソリューションズ
- ・出田 健二 (株)まちづくり三鷹
- ・及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム
- ・大場 寧子 (株)万葉
- ・後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・最首 英裕 (株)グルーヴノーツ
- ・立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・中島 宏 (株)DTS
- ・羽田 昭裕 日本ユニシス(株)
- ・平松 知江子 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
- ・森 正弥 楽天(株)
- ・吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト
- ・吉田 正敏 富士通(株)

### 2) 理事

- ・代表理事 理事長 松本 行弘
- ・副理事長 井上 浩
- ・理事 山根 泉  
橋本 明彦  
田中 和明  
笹田 耕一

### 3) 監事、顧問及び事務局

- ・監 事 今岡 正一（公認会計士）
- ・顧 問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事
- ・事務局 前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ 2 名の他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。その他、事例収集のため外部のライターと、規格文書の保守および改訂の作業のため外部の専門家と契約を行っています。

#### 4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和 (評議員)
- ・委員 今岡 正一 (監事)、横田 早百合 (事務局員)、  
田代 秀一 (外部委員)、高橋 征義 (外部委員)

### 3 実施事業

#### 1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト (既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む) を公募し、助成委員会で選考の結果、以下 3 件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2015 年 3 月 31 日までに開発を終え、その成果を公開します。

- ・応募件数: 9 件 (国内 7 件)
- ・採択件数: 3 件

①採択者: 井出 真広	プロジェクト: RuJIT: a trace-based Just In Time compiler for CRuby
RuJIT プロジェクトは, CRuby 処理系向け Just In Time コンパイラ RuJIT の構築を目指す。このプロジェクトの目標は, JIT コンパイラによる Ruby スクリプト実行の高速化にある。RuJIT では, 既存のコンパイラ最適化手法に加え, Ruby 言語に特化した最適化, 高速化の工夫を行い, 処理性能の大幅な向上を行う。加えて, CRuby 処理系への採用を目指し, 品質・互換性の向上を行う。	
②採択者: 西田 直樹	プロジェクト: DataFrameの開発による科学用途のgem開発の促進
MikonはRubyでデータ解析・可視化を簡単に行えるようにするプロジェクトです。このプロジェクトではデータ可視化用gemのNyaplot,統計処理用gemのStatsampleと連携し、データの読み込みと操作,解析,可視化をRubyで統一して行えるようにすることを目標とします。また、Web上のRuby実行環境であるIRuby上で解析・可視化を一度に行うGUIの実装を実験的に実装します。	
③採択者: Deivid Rodriguez	プロジェクト: Threading Support for Byebug
Thread debugging support in Byebug. The feature will allow users to debug multithreaded programs: thread switching, pausing and resuming specific threads, list active threads and so on.	

#### 2) Ruby安定版保守事業

ユーザが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することとし、委託先の選定に際し公募を行った結果、中村宇作様を委託先に決定しました。委託期間は 2015 年 3 月 31 日までです。また 2014 年度は、アメリカの非営利組織である Ruby Central より本事業に対して助成金の交付を受けました。

#### 3) Rubyに関する情報発信事業

##### (1) Webでの情報発信

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業に利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2014 年度は新たに 4 件の利用事例を紹介しました。

2014 年度 新規掲載企業	テーマ
株式会社インターネットイニシアティブ	Ruby on Rails で手軽に開発・運用コストを最小化できる純国産 PaaS「MOGOK」、セキュリティも万全
freee 株式会社	継続的デリバリで常に進化する会計ソフト 会計 freee
株式会社日立ソリューションズ	300 画面の大規模 Web システム「建設業情報管理システム」を Ruby で構築、開発規模を 1/5 に削減
株式会社日立ソリューションズ	020 ソリューションの開発に Ruby を採用することで、短期間、低コストを実現した『ReBee』

また、投稿者自身によって Ruby 事例が紹介できる「投稿版事例紹介」の成果を公開致しました。(2015 年 3 月 3 日現在 20 件)

## (2) RubyWorld Conference 2014 の開催

2014 年 11 月 13 日(木)、14 日(金)、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」(島根県松江市)にて、6 回目となる「RubyWorld Conference 2014」を開催しました。主催は、RubyWorld Conference 開催実行委員会(構成機関: Ruby アソシエーション、島根県、松江市、島根大学、松江高専、ジェトロ松江、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまね OSS 協議会、経済産業省中国経済産業局)、その他、多くの機関の後援、協賛をいただき実施しました。今回の国際会議では、Ruby に関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、開発者教育の状況などを紹介する様々なセッションを通じて、Ruby がより多くの領域に普及していくことを目指し、国内外 20 名が講演し、来場者数は 2 日間で延べ 876 名(詳しくは下記を参照)を数えました。オープニング・セレモニーで、まつもと実行委員長、溝口善兵衛島根県知事、吉山治松江市副市長の挨拶に続き、経済産業省 商務情報政策局 野口聡 情報処理振興課長に、来賓ご挨拶をいただきました。

引き続き基調講演では、Ruby の開発者まつもと委員長が「Ruby が教えてくれたこと」と題し講演。また、2 日目の基調講演では、米大統領イノベーションフェロー/Mightyverse CTO、Sarah Allen 氏が「Ruby in the US Government」と題して、米大統領イノベーションフェロー・Mightyverse CTO として両分野での仕事のご紹介と、その開発プロセスにおける相違点や共通のテーマについてご講演いただきました。

初日の午後は、新たに Ruby コミュニティに貢献した方の活動を表彰す「Ruby コミュニティの新人賞」として、昨年よりスタートした Ruby Prize 受賞者の発表と表彰が行われました。その他、国内外の Ruby の技術者、企業関係者が講演し Ruby

の更なる普及・発展に向けて活発に議論がなされました。なお、クロージング・セレモニーでは、井上浩 実行委員会副委員長が、2 日間の議論を振り返るとともに、来年の Conference の開催意向を表明し、閉幕しました。

●来場者について 2 日間延べ 876 名（11 月 13 日 495 名、11 月 14 日 381 名）

来場実数 658 名（県内 216 名、県外 433 名、海外 9 名）

- ・IT 企業関係者 447 名（県内 108 名、県外 334 名、海外 5 名）
- ・その他企業関係者 35 名（県内 17 名、県外 16 名、海外 2 名）
- ・行政関係者 17 名（県内 0 名、県外 17 名）
- ・研究教育機関関係者 113 名（県内 104 名、県外 9 名）
- ・一般（所属なし） 26 名（県内 8 名、県外 18 名）
- ・講演者 20 名（県内 7 名、県外 11 名、海外 2 名）※Ruby Prize 含む

●講演者について

- ・国内 18 名（企業関係者 16 名、教育機関関係者 1 名、
- ・海外 2 名（アメリカ 2 名 うち企業関係者 1 名）

### 3) Ruby ビジネスセミナー

当財団の単独主催、又は関係機関との共催、協力を得てビジネスセミナーを開催致しました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、開催地の状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。また、セミナー後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web 上だけではない「リアルなビジネス交流」の機会を提供しました。

各セミナーでは参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望も意見集約し、今後の事業内容の検討にも活用しています。

開催時期、会場	開催テーマ	来場者数 (名)
2014 年 6 月、東京	PaaS ビジネスへの活用集	約 60 名
2014 年 10 月、東京	エンジニア教育	約 80 名
2015 年 1 月、大阪	Ruby コミュニティー、イノベーション	約 90 名
2015 年 2 月、東京	Ruby Business Users conference 2015	約 120 名
2015 年 3 月、松江	未定	

### 4) Ruby 技術者認定試験事業

2014 年 10 月 1 日より旧試験を改定し、Ruby Association Certified Ruby Programmer version 2.1 の配信を開始致しました。

認定者は、Ruby 技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準の Ruby によるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定により Ruby ベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

## 5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。2014年12月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	21(18)	67(58)
認定教育機関プログラム	3(3)	1(0)
認定サポート事業者プログラム	2(2)	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	3(3)	1(1)

※( )内は前年度数

## 6) 協賛会員事業

### ・会員資格

法人、任意団体及び個人

### ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円(4月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5口以上(50万円以上)

②Gold Sponsor 2口以上(20万円以上)

③Silver Sponsor 1口以上(10万円以上)

2014年12月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum :	Gold :	Silver :
年間5口以上	年間2口以上	年間1口以上
11(12)	21(19)	45(41)

※( )内は前年度数

## 2014年度 一般財団法人Rubyアソシエーション 決算見込 2015.1.23 単位:千円

	2014年度 予算案①	2014年度 決算見込	②-①
<b>1 売上高</b>			
1) Ruby技術者認定試験	16,330	12,477	-3,852
2) 事業者認定事業	2,200	2,470	270
3) その他事業収入	242	1,594	1,352
小計	18,772	16,541	-2,231
<b>2 特別利益(協賛金、寄附金)</b>			
1) 協賛会員	15,400	14,200	-1,200
2) 寄附金	0	186	186
3) その他	0	0	0
小計	15,400	14,386	-1,014
<b>3 雑収入</b>			
1) 預金利息 等	2	2	0
<b>4 売上原価</b>			
1) Ruby技術者認定試験	7,720	6,408	-1,312
2) 事業者認定事業	540	266	-274
3) その他	0	0	0
小計	8,260	6,674	-1,586
<b>5 その他、事業費用</b>			
1) 公募型開発プロジェクト	1,500	1,515	15
2) Ruby安定版の保守業務等	3,804	3,761	-43
3) Web活用(情報発信事業)	900	200	-700
4) RubyWorld Conference開催	1,300	1,300	0
5) ビジネスセミナー開催 等	975	1,160	185
6) 標準化維持	1,000	550	-450
小計	9,479	8,486	-993
<b>6 役員報酬</b>			
監事報酬	600	600	0
小計	600	600	0
<b>7 販売費及び一般管理費</b>			
1) 職員人件費	8,100	8,350	250
2) 賃借料(事務所+駐車場)	1,164	1,116	-48
3) 旅費交通費(出張費)	1,125	900	-225
4) 通信運搬費(電話代、郵便代)	36	84	48
5) 消耗品費(事務用品他)	120	132	12
6) 会議費	100	3	-97
7) 使用料	60	50	-10
8) 租税公課(消費税、印紙代)	753	614	-140
9) 手数料	60	360	300
10) 委託費	3,000	3,000	0
11) 報償費	0	0	0
※諸会費			0
※雑費	500	300	-200
小計	15,018	14,909	-110
<b>8 総収入</b>	<b>34,174</b>	<b>30,929</b>	<b>-3,245</b>
<b>9 総支出</b>	<b>33,357</b>	<b>30,688</b>	<b>-2,689</b>
<b>10 税引前当期純利益</b>	<b>816</b>	<b>261</b>	<b>-556</b>
<b>11 当期法人税</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>12 当期純利益</b>	<b>816</b>	<b>261</b>	<b>-556</b>
<b>13 利益剰余金</b>	<b>26,637</b>	<b>29,001</b>	<b>2,363</b>
<b>※協賛会員数</b>			
Platinum Sponsor (50万円)	12	11	-1
Gold Sponsor (20万円)	22	21	-1
Silver Sponsor (10万円)	50	45	-5

## 1売上高

	単価	個数	他 係数	合計
<b>1)Ruby技術者認定試験</b>	<b>12,477</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>12,477</b>
12月まで	16.2	491	1	7,954
	15.8	7	1	110
RF	16.2	13	1	211
RC	15.4	41	1	631
RC	14.6	17	1	248
海外	17.2	40	1	688
1月～3月	16.2	140	1	2,268
RF	16.2	10	1	162
RC	15.4	10	1	154
海外	17.2	3	1	52
<b>2)事業者認定事業</b>				<b>2,470</b>
Sier認定	50	47	1	2,350
クラウド認定				0
教育認定				0
サポート認定				0
アップグレード	20	2	1	40
盾追加	20	1	1	20
途中入会	30	2	1	60
<b>3)その他事業収入</b>				<b>1,594</b>
				0
松江ラーメン	4.3	12	1	52
認定テキスト使用料	4.0	12	1	48
ビジネスセミナー	2	44	1	88
松江市委託事業	300	1	1	300
RubyCentral	1080	1	1	1,080
その他	13	2	1	26

## 2特別利益

14,386

協賛会員P	500	11	1	5,500
協賛会員G	200	21	1	4,200
協賛会員S	100	45	1	4,500
			<b>協賛会費収入合計</b>	<b>14,200</b>
個人寄付	5	36	1	180
自動販売機寄付	3	2	1	6
海外寄付	1	0	1	0
			<b>寄付金合計</b>	<b>186</b>

#### 4売上原価

	単価	数量	係数	合計
<b>1) Ruby技術者認定試験</b>				<b>6,408</b>
12月まで テスト配信手数料等	5.9	592	1	3,516
バウチャー発行手数料	1.1	9	1	10
クレジット手数料	0.50	345	1	173
海外分	6.05	40	1	242
国内認定証印刷発送委託	0.25	350	1	88
海外認定証印刷委託	0.16	19	1	3
海外発送	1.00	19	1	19
その他	50.60	1	1	51
テスト問題改訂版作成費	32	1	1	32
テストデータ修正コンパイル費	194	3	1	583
1月～3月 テスト配信手数料等	5.9	260	1	1,544
バウチャー発行手数料	1.1	3	1	3
クレジット手数料	0.60	100	1	60
海外分	6.05	6	1	36
国内認定証印刷発送委託	0.25	130	1	33
海外認定証印刷委託	0.16	4	1	1
海外発送	1.00	4	1	4
その他	10.00	1	1	10
<b>2) 事業者認定事業</b>	<b>19</b>	<b>14</b>	<b>1</b>	<b>266</b>
<b>3) その他</b>				<b>0</b>

#### 5その他事業費用

	単価	数量	係数	合計
<b>1) 公募型開発プロジェクト</b>				<b>1,515</b>
助成金	1,500	1	1	1,500
送金手数料	5	3	1	15
<b>2) Ruby安定版の保守業務等</b>				<b>3,761</b>
安定版保守の委託	3,629	1	1	3,629
by-lang.orgサーバ利用料(@=\$)	12	11	1	132
<b>3) Web活用(情報発信事業)</b>				<b>200</b>
記事作成委託	35	4	1	140
他費用	60	1	1	60
<b>4) RubyWorld Conference開催</b>				<b>1,300</b>
負担金	1,000	1	1	1,000
Ruby Prize	300	1	1	300
<b>5) ビジネスセミナー開催 等</b>				<b>1,160</b>
会場借り上げ(東京、大阪)	180	2	1	360
会場借り上げ(松江)	20	1	1	20
講師旅費	30	1	1	30
旅費	75	8	1	600
旅費	30	5	1	150
<b>6) 国際標準維持</b>				<b>550</b>
会場代	50	0	1	0
頃末さん報酬	400	1	1	400
交通費	75	2	1	150

#### 6役員報酬

	単価	数量	係数	合計
今岡監事	50	12	1	600

#### 7販管費

	単価	数量	係数	合計
<b>1) 職員人件費</b>				<b>8,350</b>
一式	8,350	1	1	8,350
				0
				0
2) 賃借料(事務所+駐車場)	93	12	1	1,116
3) 旅費交通費(出張費)	75	12	1	900
4) 通信運搬費(電話代、郵便代)	7	12	1	84
5) 消耗品費(事務用品他)	11	12	1	132
6) 会議費	3	1	1	3
7) 使用料	50	1	1	50
8) 租税公課(印紙代)※消費税別	1	12	1	12
9) 手数料	30	12	1	360
10) 委託費	750	4	1	3,000
11) 報償費	0	0	1	0

## 消費税(租税公課)

	課税売上高(A)	①(A×0.08)	係数	納付税額
<b>合計</b>				<b>602</b>
技術者認定試験事業	12,477	998	0.5	499
事業者認定事業	2,470	198	0.5	99
松江ラーメン	52	4	0.5	2
テキスト使用料	48	4	0.5	2

一般財団法人 Ruby アソシエーション  
「2015年度 事業計画書」 (案)

2015年4月1日から

2016年3月31日まで

2015年3月31日

一般財団法人 Ruby アソシエーション

# 目次

はじめに	2
<b>1 組織体制</b>	<b>2</b>
1) 評議員	
2) 理事	
3) スタッフ	
<b>2 実施事業</b>	
1) Ruby 及びその周辺技術の開発支援事業	2
2) 情報発信事業	3
3) Ruby 技術者認定試験事業	3
4) 事業者認定事業	4
5) 標準維持事業	4
6) 協賛会員事業	4
7) 寄付事業	5
<b>3 関係機関との連携</b>	<b>5</b>
1) 松江市、島根県	
2) 日本 OSS 推進フォーラム	
3) その他、関係機関	
<b>4 その他関係資料</b>	<b>5</b>

## はじめに

一般財団法人 Ruby アソシエーション（以下、「当財団」という。）は、Ruby の普及、発展と、ビジネス利用の拡大を目的として、2014 年度は、協賛会員などの支援のもと、公募型開発支援プロジェクト、安定版の保守事業、情報発信事業、技術者認定試験事業、並びに事業者認定事業に取り組んで参りました。

この持続可能な産業循環である「Ruby Eco System」をより強固なものにするために、当財団は、協賛会員数の一層の増加を果たした上で、Ruby に関係する開発コミュニティ、企業及び支援機関の良好な関係を築き、Ruby を利用される多くの皆様の発展に寄与できるよう、2015 年度も様々な事業に取り組みます。



## 1 組織体制

### 1) 評議員

引き続き評議員 13 名の体制で、法令、定款に定める権限を行使します。

### 2) 理事

引き続き理事 6 名の体制で、定款の定めるところにより財団を運営します。

### 3) スタッフ

常勤スタッフ 2 名の体制を継続致します。その他、必要に応じて非常勤スタッフを活用するとともに、評議員輩出企業及び松江市、島根県による人的支援によって運営します。

## 2 実施事業

### 1) Ruby 及びその周辺技術の開発支援事業

#### (1) 公募型開発プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）に対し、助成金を交付します。

#### (2) Ruby 安定版保守事業

Ruby を安心して利用できる環境の提供と、開発コミュニティが Ruby の新たな機能開発に集中できる環境づくりを目的に、Ruby 処理系の保守を行います。

### **(3) www.ruby-lang.org サーバー運営費支援**

Ruby コミュニティーが運用している www.ruby-lang.org のサーバー運営費に対して資金面での支援を行います。

## **2) 情報発信事業**

### **(1) Web 活用**

#### **① 利用事例の紹介**

これまで知られていなかった Ruby 利用事例を発掘し、充実した事例紹介の提供に努めます。この事例紹介では、日本 OSS 推進フォーラムなど関係機関と連携し、取り組みます。

#### **② 技術情報の紹介**

現在提供する「Ruby の導入から開発・運用に至るまでに必要とされる一連の情報」を Ruby の最新バージョンに対応した情報に適宜更新していきます。

### **(2) RubyWorld Conference 2015**

2015 年 11 月 12 日（木）、13 日（金）に島根県松江市にて開催し、当財団を中心に松江市、島根県、島根大学などで構成する RubyWorld Conference 開催実行委員会によって準備、運営をします。従来同様に「Ruby Eco System（Ruby の持続可能な生態系）」をテーマに、国内外から講演者を招聘、及び発表者を一般公募し、Ruby の先進的な利用事例、最新の技術動向などの様々な情報を発信します。

### **(3) Ruby Prize**

RubyWorld Conference2014 で実施した RubyPrize について、2015 年度も開催することを松江市等と検討します。

### **(4) ビジネスセミナー**

RubyWorld Conference と同様に、Ruby ビジネスの中心地である東京、大阪、島根、福岡などで価値ある情報を提供するビジネスセミナーを開催します。

2015 年度は 4 回程度の開催を予定します。

なお、当財団による単独開催のほか、支援企業及び関係機関と連携して開催する場合があります。

## **3) Ruby 技術者認定試験事業**

Ruby ベースのシステムを設計、開発、運用するエンジニア、Ruby でシステム提案を行うコンサルタント、Ruby を教える講師などを対象とした認定試験を継続して実施します。試験の合格者は、Ruby 技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準の Ruby によるシステム開発能力を有する「Ruby Association Certified Ruby Programmer Gold」、又は「同 Silver」として認定します。

また、教育機関が本認定試験を積極的に利用する動機となるような情報の提供を行ってまいります。

## **4) 事業者認定事業**

各プログラムにて認定された事業者、教育機関は、質の高い Ruby に関連したサービ

スを提供する者として当財団のホームページなどを通じて紹介します。

#### **(1) Ruby アソシエーション認定システムインテグレータプログラム**

Ruby 技術者認定試験の Gold、又は Silver の認定技術者が正社員として 5 名以上所属する事業者を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified System Integrator Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

#### **(2) Ruby アソシエーション認定教育機関プログラム**

Ruby 技術者認定試験の Gold、又は Silver の認定技術者が正社員として 2 名以上所属し、教材として「Ruby 公式資格教科書 Ruby 技術者認定試験 Silver/Gold 対応」を採用するか、同程度の内容を含むカリキュラムで、年間 2 回以上講習会などの教育を実施する教育機関を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified Educational Institution Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

#### **(3) Ruby アソシエーション認定サポート事業者プログラム**

Ruby 技術者認定試験の Gold、又は Silver の認定技術者が正社員として 2 名以上所属し、Ruby のサポートサービスを提供する事業者を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified Support Provider Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

#### **(4) Ruby アソシエーション認定クラウドサービス事業者プログラム**

Ruby 技術者認定試験の Gold、又は Silver の認定技術者が正社員として 2 名以上所属し、ユーザが登録したアプリケーションを ISO/IEC 30170 に適合する処理系上で動作させることができるサービスを提供している事業者を、登録申請及び条件審査の後、「Ruby Association Certified Cloud Service Provider Gold」、又は「同 Silver」に認定します。

### **5) 標準維持事業**

Ruby の言語仕様は、2012 年春、国際規格 (ISO/IEC 30170) に承認されました。当財団は、規格文書の保守及び改訂作業を行います。

### **6) 協賛会員事業**

当財団では、Ruby の普及、発展を目指す事業に賛同し、支援いただける会員を募集することで財政基盤の安定化を図ります。募集対象は、法人、任意団体及び個人であり、支援いただく口数に応じて 3 区分を設けています (年会費：1 口 10 万円、4 月を開始月とします)。

協賛会員区分

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| (1) Platinum Sponsor | 5 口以上 (50 万円以上) |
| (2) Gold Sponsor     | 2 口以上 (20 万円以上) |
| (3) Silver Sponsor   | 1 口以上 (10 万円以上) |

2015 年度は、Platinum Sponsor として 11 社、Gold Sponsor として 23 社、Silver Sponsor として 47 社のご賛同を見込んでいます。

当財団では、ホームページ、メーリングリスト、ビジネスセミナー等を通じて活動趣旨に賛同いただけるよう呼びかけます。

また、協賛会員相互の交流を促進するための有料イベントも実施いたします。

## 7) 寄付事業

上述の協賛会員事業のほか、当財団の事業に賛同、支援いただける方に向けて、「Ruby Association Supporters」と称して寄付を募集いたします。ホームページ、メーリングリスト、またビジネスセミナー等を通じて活動趣旨に賛同いただけるよう呼びかけます。

## 3 関係機関との連携

当財団は、その目的の達成に向けて関係機関との連携を促進します。

### 1) 松江市、島根県

当財団は活動の拠点（主たる事務所）を島根県松江市に置いています。これまでも当財団の活動に賛同、支援いただいた松江市、島根県とは、一層連携を緊密にします。情報発信事業をはじめとした諸事業のみならず当財団の運営面においても支援いただくことで、充実した財団事業に取り組みます。

### 2) 日本 OSS 推進フォーラム

これまで同様に 2015 年度も同フォーラムの情報発信事業（特に利用事例の公開）と連携した取り組みを進めます。

### 3) その他、関係機関

Ruby への取り組みを進める機関との連携を進めることは、当財団の目的の実現に向けて重要な課題です。特に以下の機関との連携、共同事業を検討します。

- ①一般社団法人 日本 Ruby の会
- ②福岡 Ruby・コンテンツビジネス振興会議
- ③NPO 法人 軽量 Ruby フォーラム
- ④Ruby ビジネス推進協議会
- ⑤Ruby Central
- ④その他、国内外の機関

## 4 その他関係資料

2015 年度予算を別に掲載します。

## 2015年度 一般財団法人Rubyアソシエーション 予算案 2015.1.26 単位:千円

	2014年度 決算見込①	2015年度 予算案②	②-①
<b>1 売上高</b>			
1)Ruby技術者認定試験	12,477	14,187	1,709
2)事業者認定事業	2,470	2,250	-220
3)その他事業収入	1,594	1,439	-155
小計	16,541	17,876	1,335
<b>2 特別利益(協賛金、寄附金)</b>			
1)協賛会員	14,200	14,800	600
2)寄附金	186	106	-80
3)その他	0	0	0
小計	14,386	14,906	520
<b>3 雑収入</b>			
1)預金利息 等	2	2	0
<b>4 売上原価</b>			
1)Ruby技術者認定試験	6,408	5,734	-674
2)事業者認定事業	266	540	274
3)その他	0	0	0
小計	6,674	6,274	-400
<b>5 その他、事業費用</b>			
1)公募型開発プロジェクト	1,515	1,500	-15
2)Ruby安定版の保守業務等	3,761	3,756	-5
3)Web活用(情報発信事業)	200	495	295
4)RubyWorld Conference開催	1,300	1,300	0
5)ビジネスセミナー開催 等	1,160	1,500	340
6)標準化維持	550	500	-50
小計	8,486	9,051	565
<b>6 役員報酬</b>			
監事報酬	600	600	0
小計	600	600	0
<b>7 販売費及び一般管理費</b>			
1)職員人件費	8,350	8,400	50
2)賃借料(事務所+駐車場)	1,116	1,140	24
3)旅費交通費(出張費)	900	900	0
4)通信運搬費(電話代、郵便代)	84	60	-24
5)消耗品費(事務用品他)	132	144	12
6)会議費	3	10	7
7)使用料	50	50	0
8)租税公課(消費税、印紙代)	614	753	140
9)手数料	360	360	0
10)委託費	3,000	3,000	0
11)報償費	0	0	0
※諸会費			0
※雑費	300	500	200
小計	14,909	15,317	409
<b>8 総収入</b>	30,929	32,784	1,855
<b>9 総支出</b>	30,668	31,242	574
<b>10 税引前当期純利益</b>	261	1,542	1,281
<b>11 当期法人税</b>	0	0	0
<b>12 当期純利益</b>	261	1,542	1,281
<b>13 利益剰余金</b>	29,001	30,542	1,542
<b>※協賛会員数</b>			
Platinum Sponsor (50万円)	11	11	0
Gold Sponsor (20万円)	21	23	2
Silver Sponsor (10万円)	45	47	2

## 1売上高

	単価	個数	他 係数	合計
<b>1)Ruby技術者認定試験</b>				<b>14,187</b>
国内	16.2	790	1	12,798
バウチャー	15.4	50	1	770
海外	17.2	36	1	619
<b>2)事業者認定事業</b>	<b>50</b>	<b>45</b>	<b>1</b>	<b>2,250</b>
Sier認定	50	45	1	2,250
クラウド認定				0
教育認定				0
サポート認定				0
<b>3)その他事業収入</b>				<b>1,439</b>
松江ラーメン	4	12	1	48
認定テキスト使用料	4	12	1	48
有料ビジネスセミナー	2	50	1	100
協賛会員向けビジネスセミナー	5	30	1	150
松江市委託事業				0
RubyCentral	1080	1	1	1,080
その他	13	1	1	13

## 2特別利益

29,706

協賛会員P	500	11	1	5,500
協賛会員G	200	23	1	4,600
協賛会員S	100	47	1	4,700
			<b>協賛会費収入合計</b>	<b>14,800</b>
個人寄付	5	20	1	100
自動販売機寄付	3	2	1	6
海外寄付	1	0	1	0
			<b>寄付金合計</b>	<b>106</b>

#### 4売上原価

	単価	数量	係数	合計
1)Ruby技術者認定試験				5,734
テスト配信手数料等	5.9	840	1	4,956
パウチャー発行手数料	1.1	12	1	13
クレジット手数料	0.60	650	1	390
海外分	6.05	36	1	218
国内認定証印刷発送委託	0.25	504	1	126
海外認定証印刷委託	0.16	18	1	3
海外発送	1.00	18	1	18
その他	10.00	1	1	10
2)事業者認定事業	18	30	1	540
3)その他				0

#### 5その他事業費用

	単価	数量	係数	合計
1)公募型開発プロジェクト	1,500	1	1	1,500
2)Ruby安定版の保守業務等				3,756
安定版保守の委託	1,800	2	1	3,600
ruby-lang.orgサーバ利用料(＠=\$150)	13	12	1	156
3)Web活用(情報発信事業)				495
記事作成委託	35	12	1	420
他費用	75	1	1	75
4)RubyWorld Conference開催				1,300
負担金	1,000	1	1	1,000
Ruby Prize	300	1	1	300
5)ビジネスセミナー開催等				1,500
会場借り上げ(東京、大阪)	200	2	1	400
会場借り上げ(松江)	20	1	1	20
協賛会員向けセミナー	5	30	1	150
旅費	30	4	1	120
旅費	75	10	1	750
講師旅費	30	2	1	60
6)国際標準維持	500	1	1	500

#### 6役員報酬

	単価	数量	係数	合計
今岡監事	50	12	1	600

#### 7販管費

	単価	数量	係数	合計
1)職員人件費				8,400
一式	8,400	1	1	8,400
				0
				0
2)賃借料(事務所+駐車場)	95	12	1	1,140
3)旅費交通費(出張費)	75	12	1	900
4)通信運搬費(電話代、郵便代)	5	12	1	60
5)消耗品費(事務用品他)	12	12	1	144
6)会議費	5	2	1	10
7)使用料	50	1	1	50
8)租税公課(印紙代)※消費税別掲	5	12	1	60
9)手数料	30	12	1	360
10)委託費	75	4	1	300
11)報償費	0	0	1	0

## 消費税(租税公課)

	課税売上高(A)	①(A×0.08)	係数	納付税額
<b>合計</b>				<b>693</b>
技術者認定試験事業	15,120	1,210	0.5	605
事業者認定事業	2,038	163	0.5	82
松江ラーメン	89	7	0.5	4
テキスト使用料	89	7	0.5	4